



入試を意識した学習への切り替え、深める秋

夏休みも終わり、高校生活も後半に入りました。今月は創立50周年記念式典が行われ、さまざまな場面で中心的な役割を果たす皆さんですが、これからの学習は皆さんの入試を左右する意味でとても重要であることを忘れてはいけません。しっかりとした目標を持ち、毎日の学習に確実に取り組み、この夏抱いた夢の実現に走り出しましょう。

1. 2年生の秋は成績層により、学習習慣・意欲の差が最も大きくなる時期！

☆成績上昇者

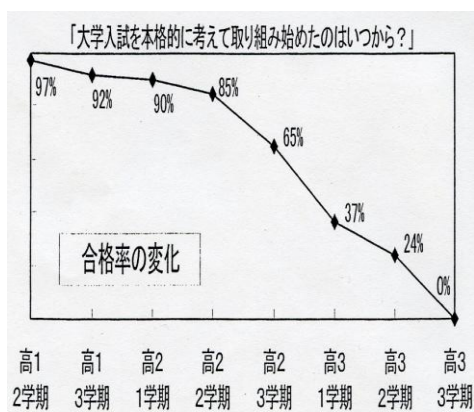
- 受験勉強はこの秋から始める。
- 今後、平日3時間・休日5時間以上の学習時間を確保しようと思っている。
- 古典は予習中心で、辞書などを使って、全文を現代語訳している。
- 数学の定期試験前は問題集にも取り組み、自力で応用問題を解くようにしている。
- 英語の定期試験後は間違えた箇所の理由を確認して理解している。

▼成績下降者

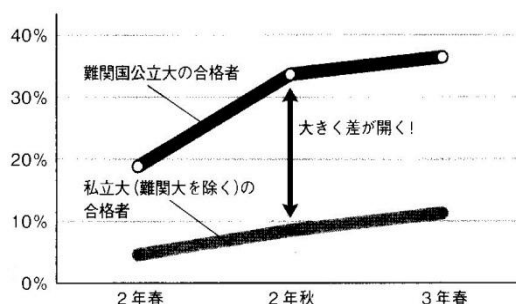
- 受験勉強は冬以降に始めるつもり
- 今後、平日1時間・休日2時間の学習時間でいいと思っている。
- 古典の自宅学習はほとんど何もしていない。
- 数学の定期試験対策が不十分で、解けない問題はすぐあきらめている。
- 英語の定期試験後の復習は全くしていない。



上記は、スタディサポート（2年2回）と進研模試の個人成績推移（2年7月および1月記述模試）をもとに比較・分析されたものの一部です。成績下降者の口にあてはまるものはありますか？



平日の学習時間を「3時間以上」と答えた割合



※「スタディサポート」学習状況リサーチと入試結果から分析

本校の課題は、2年生のこの時期に学習時間が増えていないことです。以下の表です。

2年生学習時間(6月末~7月実施アンケートより)

| | 現2年生 | 対1年生時 | 対1昨年2年生 |
|---------|------|-------|---------|
| 平日学習時間 | 120分 | -16分 | -14分 |
| 平日2時間未満 | 36% | +8% | |
| 休日学習時間 | 188分 | -21分 | -22分 |

12年のこの時期が実は大変重要な時期であることは触れました。
しかし、左の表のように皆さんの学習への取り組みはむしろ悪い方に進んでいませんか？
25年度入試における現役での国立大学合格者数は102人
その学年より大きく学習時間を減らして安心していられますか？

2. アウトプット型への学習へ

これまでの学習習慣・スタイルの目標は、習得型学習行動と定着型学習行動の確立でした。

◇習得型学習=学習の基本 (ABC) :

A : 当たり前のことを B : 馬鹿にしないで C : ちゃんと取り組む

- ①「予習→授業→復習」の黄金サイクルの確立
- ②平日3時間+α、休日5時間以上 (『量は質をしのぐ、質は後からついてくる』)
- ③課題はしっかりとやり抜く

◇定着型学習=失敗にしっかりと向き合い、自分で次の行動ができる

- ①計画を立てて振り返るPDCAの実践→家庭学習時間調査で学習時間のバランスチェック

P=計画 (Plan) を立て、D=実行 (Do) し、

C=点検・評価 (Check) し、A= (Action) 改善していく

- ②テストを振り返り失敗に学ぶ→得意不得意科目・分野の確認と補強→学力バランスを取り戻す

試験範囲の狭い定期考査ならば上記の学習型でもよかったです。この学習法では入試には太刀打ちできません。これまでの学習を基礎に、時には教科の枠を超えて学んだり、興味ある事柄については、その背景や現在の世界との関連について様々なやり方で自ら深めたりと主体的な学習を進めていきましょう。そして、学んだことについて整理・分析し、まとめて表現することで自らの思考力を更に深めることができます。そのためにもこれまでの暗記型学習からじっくり考え抜く学習へ、Input (知識吸収) 型から Output (知識活用) 型学習への移行が必要です。

確実な基礎力 (基本的な知識をもって、なぜ、そうなるかを考察できる力) の充実を図り、「考え抜く力」をつけるためにも、学習時間を増やすこと、限られた時間の中で、時間を意識した学習スタイル (スピード、時間内に正確に解けるか) が必要となってきます。これからは国・数・英だけではありません。

3. 君たちは新課程での入試である！ (センター試験の場合)

- ①数学は出題範囲が変わる。(過去問とは内容と構成が変わる)
- ②文系、理系ともに理科の負担は重くなる。
 - ・文系の人は高2の間に国数英の基礎を固め、高3で理科の受験対策を十分にできる余力を作っておくこと
 - ・理系は、旧課程ではセンター試験範囲外の「理科Ⅱ」の範囲が含まれるため、専門2科目の受験対策を早期に行うことが必須
- ③入試に関する情報に敏感に！ (誰かさんのものではない、君たちの受験です)

今日やるべきこと、今日できることは今日のうちに！